

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑪特許出願公開
昭53—14414

⑤Int. Cl.²
F 16 L 41/00

識別記号

⑤日本分類
65 A 46

庁内整理番号
7029—26

④公開 昭和53年(1978)2月9日

発明の数 2
審査請求 有

(全 3 頁)

⑤4支管取付部

②特 願 昭51—89302
②出 願 昭51(1976)7月27日
②発 明 者 横井武司
名古屋市緑区鳴海町字細根84番

地の4 鳴海団地30号棟100号
⑦出 願 人 アロン化成株式会社
東京都港区西新橋1丁目14番1号
④代 理 人 弁理士 宇佐見忠男

明 細 書

1. 発明の名称

支管取付部

2. 特許請求の範囲

- 1 主管の管壁の支管取付位置に孔を設け、中央部に嵌合孔を設けた架台を該支管取付位置に当接、接着固定し、該架台の嵌合孔に、先端部に受口を有する曲管の根端部を嵌合、接着固定したことを特徴とする支管取付部
- 2 主管の管壁の支管取付位置に孔を設け、中央部に嵌合孔を設けた架台を該支管取付位置に当接、接着固定し、該架台の嵌合孔に、先端部に受口を有する曲管の根端部を嵌合、接着固定し、更に該曲管の受口から先端部に受口を有する他の曲管の根端部を摺動自在に挿入接続したことを特徴とする支管取付部

3. 発明の詳細な説明

本発明は現場にて主管に取付位置および角度調整自在に支管を取付けることが出来る支管取付部

に関するものである。

しかして本発明は架台と曲管とを別材となし、現場にて所望の取付位置および角度で主管に支管を取付けることを骨子とするものである。

本発明を図に示す一実施例により説明すれば、①は主管であり、支管取付位置に孔④を設ける。支管取付位置は主管の側面でもよい。②は架台であり曲率を主管①管壁と同一にされ、中央部にはフランジ③が周設せられた嵌合孔⑤が設けられる。フランジ③は別材としても架台②と一体に形成せられてもよい。該架台②を主管①の支管取付位置に当接、熱融着、接着剤等で接着固定する。この際、主管①の管壁に設けた孔④を架台②に設けた嵌合孔⑤より充分大きくすれば、第3図および第4図に示すように取付位置の円周方向に対する調整、第5図、第6図に示すように主管①長手方向に対する調整が可能である。③は曲管であり先端部にはパッキン溝⑥を形成した受口⑦が露出せられる。パッキン溝⑥は必ずしも必須のものではない。該曲管③の根端部を主管①に接着固定した架

台③の嵌合孔⑤に嵌合する。この際、第8図、第9図に示すように嵌合孔⑤の軸の周り方向に角度調節が可能である。所望の取付角度にて曲管⑥を嵌合孔⑤に熱融着、接着剤等にて固定する。かくして主管①に曲管⑥を取付け、曲管⑥の受口④から支管⑦を挿入接続する。この際、パッキン溝⑧にはパッキンリング⑨を挿入しておく。パッキン溝⑧のない受口④の場合は支管⑦は接着剤等で固定せられる。

支管⑦にかえ、曲管⑥と同様な曲管⑥Aを更に曲管⑥に挿入接続してもよい。かくすれば第11図、第12図に示すように曲管⑥Aの挿入度の調節により曲げ角度を例えば第11図の角度 α から第12図の角度 β に調節することが可能となる。

本発明は叙上の構成を有するから現場において主管に取付けた架台に曲管を取付ける際、架台の嵌合孔の軸の周りに自由に曲管の取付角度を調節することが可能である。また更に曲管に他の曲管を挿入接続すれば挿入度の調節によつて曲げ角度の調節も可能となる。

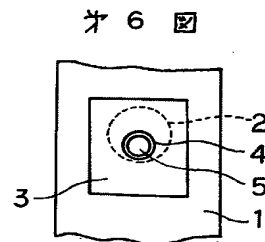
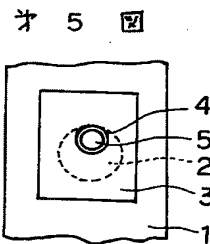
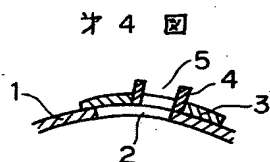
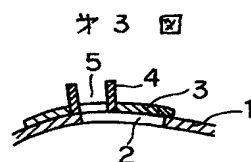
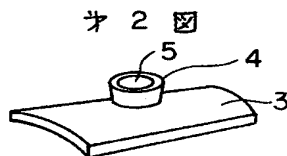
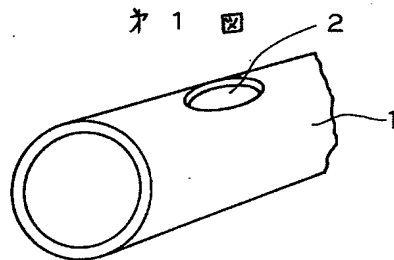
4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示すものであり、第1図は主管の部分斜視図、第3図、第4図は主管に架台を取付けた状態の短手方向断面図、第5図、第6図は主管に架台を取付けた状態の部分平面図、第7図は曲管の一部切欠側面図、第8図、第9図は架台に主管を取付けた状態の部分平面図、第10図は曲管に支管を取付けた状態の短手方向断面図、第11図、第12図は曲管に更に他の曲管を取付けた状態の部分正面図である。

図中①…主管 ②…孔 ③…架台 ④…嵌合孔 ⑤、⑥A…曲管

特許出願人 アロン化成株式会社

代理人 宇佐見忠男



手続補正書

昭和51年11月22日

昭和51年11月22日

特許庁長官 片山石郎殿

1. 事件の表示

昭和51年特許願第089302号

2. 発明の名称

シカントリツプ
支管取付部

3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

住所 東京都港区西新橋1丁目4番1号

名称 アロン化成株式会社

代表取締役 岡場公徳

4. 代理人

住所 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ丘2番地

氏名 岡田ビル503号 TEL(052)831-0901

(7547)弁理士 宇佐見忠男

5. 補正命令の日付

昭和51年10月2日(昭和51年10月26日発送)

6. 補正により増加する発明の数

7. 補正の対象

明細書の図面の簡単な説明の欄

8. 補正の内容

別紙のとおり

特許

15

図8

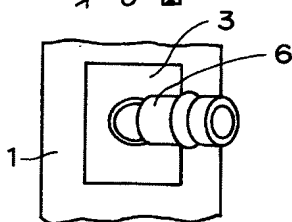


図9

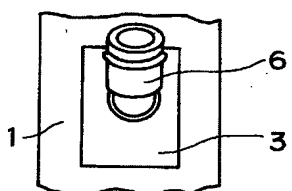


図11

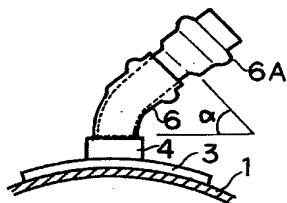


図12

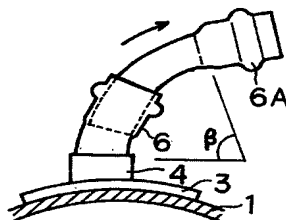
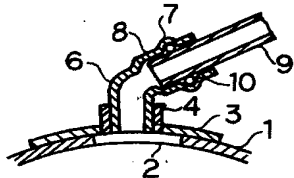


図10



別紙

明細書第4頁第3行目

「図は主管の部分斜視図、第3図、第4図は主管に」を

「図は主管の部分斜視図、第2図は主管に架台を取付けた状態の斜視図、第3図、第4図は主管に」に変更する。